

建設産業政策会議

～若い人たちに明日の建設業を語ろう～

国土交通省の建設産業政策会議は6月30日、10年後も建設業が現場力を維持するための提言「建設産業政策2017+10～若い人たちに明日の建設業を語ろう～」をまとめました。10年後の建設産業を背負う担い手を確保するため、働き方改革や生産性向上などを柱に建設業法をはじめとする『制度インフラ』を再構築する必要性を指摘。具体的な施策として、不当に短い工期設定の禁止、専門工事業の評価制度、地域建設業と市町村との連携強化、技術者資格の確認制度の対象拡充などを提案しました。

働き方改革
 ・処遇改善
 ・週休2日

生産性の向上
 ・ICT化

地域力強化
 ・若年層、女性の
 入職

**良質な
 建設サービス**
 ・環境の整備
 ・質の向上

これらの取組を通じて、建設産業の好循環を実現！

技術検定の年2回化

全受験者 社会人8割

建設業振興基金は7月14日、2017年度2級建築施工管理技術検定(前期)の学科合格者を発表。技術検定が年2回化されて初めて行われた学科試験は、受験者2935人のうち合格者は1247人(合格率42.5%)。全受験者に占める社会人の割合が8割と例年よりも高く、高校生の多くは後期試験(11月12日)の受験を選択したとみられます。

～合格者2935人の属性～

【年齢別】

21歳未満	24.4%
25～29歳	14.2%
21～24歳	14%
その他	48%

【職業別】

建設業	63%
高校生	15%
専門学生	9%
その他	13%

後期の技術検定は11月12日に行われます。
 また、合格基準や試験問題・正答など振興基金HP
<http://www.fcip-shiken.jp/>に掲載しています。

京都府 優良工事施工者表彰

京都府では27日、府等の発注工事で優秀な成績を収めた施工者を称える「第10回地域づくり優良工事施工者表彰」の受賞者を表彰するため、有識者らでつくる表彰委員会(川合茂委員長/舞鶴工業高等専門学校名誉教授)を上京区のホテルで開催しました。

表彰対象は、28年度に完成した府、府道路公社、府住宅供給公社の発注工事で、工事成績80点以上で施工者から申し出のあった54件、62社の中から受賞者が決定します。選考結果は8月中旬以降に通知される予定となっています。表彰には「優秀賞」と「奨励賞」の2種類があり、受賞者には、格付けの主観点や総合評価方式で加点されるメリットがあります。

社内のパソコンには危険がいっぱい！

セキュリティー対策はお済みですか？

【企業が被る不利益】

金銭の損失	お客さまや取引先さまの損失
業務の損失	社内環境への悪影響



その他にも、マイナンバーやネットバンキング、製品、製品開発情報なども！

【標的型メール攻撃の特徴】

- ・【重要】【至急】など確実に読ませるための文言を表記
- ・特定の組織・個人を装い、何度かメールのやり取りを行う
- ・詳細/別添/返信などのワードと共に、リンクやファイル添付

■対策として行えること

1.私物のパソコン・USBを使用する際には、必ずウイルスチェックを行う

2.ウイルス対策のソフトは常にアップデート！最新の状態で



3.リンク・添付ファイルは不用意にクリックしないこと
 無差別に送信されますので、注意が必要です！

ムラテック "Information Guard"

インターネットからの脅威をブロック！
 データを守るUTMとサーバーがコンパクトに一体化！

オフィスのデータを快適に保存
 USBから侵入するウイルスも撃退！
 トレンドマイクロ社製組込み型
 セキュリティーソフト搭載！



①業務データは社員が各自でPCに保存・保管しており、バックアップはとっていない場合



クライアントPCデータを
 定期バックアップ。

②会社のPCで社員が自由にインターネット閲覧している場合



高性能アンチウイルスの
 感染をブロック！

③セキュリティー対策の必要性は分かるが、
 専門知識に疎く検討が後回しになっている場合



製品保証5年。ムラテックの
 ワンストップサポートで安心！

情報セキュリティーとは「情報(資産)を守ること」です！

商品の詳細につきましては
 京都サンダーまでお問い合わせください！

連載企画 第2回
助成金活用術

◆『人材開発支援補助金について』

労働者の職業能力開発を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して、職務に関連した知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合や人材育成制度を導入した際に、訓練経費(受講料等)や訓期間中の賃金の一部を助成する制度です。業種、職種問わずに利用できますが、雇用保険加入の正社員が対象となります。

◆対象講座

業務に関連する専門知識や技術の習得を目的とする訓練。(弊社主催「建設ディレクター育成講座」は対象講座です)

◆コース

特定訓練コース

- ①労働生産性向上訓練 ②若年人材育成訓練
- ③熟練技能・育成継承制度 ④グローバル人材育成訓練
- ⑤特定分野認定実習併用職業訓練
- ⑥認定実習併用職業訓練

一般コース

- ⑦中高年齢者雇用型訓練 ⑧一般訓練コース

今回はこの中から代表的なものを挙げ、特徴をお知らせいたします。

京都サンダー
委託社内研修

7月に、「原価管理」と「映像CIM」に関する京都サンダー受託のCPDS社内研修を行いました。

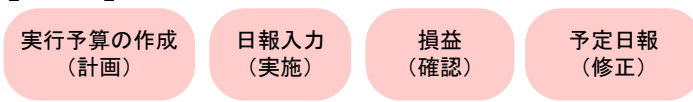
▶原価管理

現場のコスト管理を通じて現場技術者を育成し経営力の強化を図るために日報で出来高管理を行います。

【効果】

現場技術者のコスト意識と利益率アップ

【ポイント】



▶映像CIM

CIMとは、計画・調査・設計、その後の施工・維持管理の各段階において三次元モデルに連携・発展させ、映像へと情報化させること。

【映像CIM導入の期待】

施工現場の”見える化”
⇒情報の共有化促進・情報の理解力(発想力)の増加

京都サンダーでは、建設業の協会、団体、企業さまの社内研修も承っております！CPDS認定講習会、新人研修、若年者、女性活用など幅広いテーマに対応させていただきます！お気軽にお問い合わせくださいませ！

第2期 建設ディレクター育成講座
第1回～第2回 開催レポート

7月18日(火)の第1回目から、7月25日(火)の第2回目まで開催しました「第2期 建設ディレクター育成」の様子をご紹介します。建設ディレクターを目指す17名の受講生の方々が、第2期生として毎週火曜、全10回の育成講座に取り組みます。

建設フロントマネージャーコース

7月18日(火) 第1回目

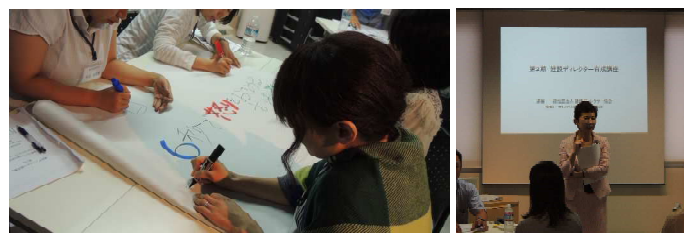
「建設ディレクターの役割と必要性」

■午後の部 高田 守康 氏

(日本マルチメディア・エクイップメント株式会社 代表取締役) 建設業における経済的背景や業界の仕組みに関する解説があり、これから学習する専門知識を理解するための基礎を固める時間となりました。企業・現場における概念を知り、必要な基本的スキルや考え方を明確にすることで、建設ディレクターに求められる役割とは何かを学びました。



7月25日(火) 第2回目



～組織力と人の才能を伸ばす～

「コーチングのコミュニケーションスキル」

■栗栖 佳子 氏

(株式会社 宙 sora 代表取締役 ビジネスコーチ)

はじめにコミュニケーションとは「スキル」であることを理解。苦手部分と伸ばすべき部分を明確にして、自分の課題を再確認。人の才能を伸ばし、人から組織へという方向へ変化させていくための方法を解説。コミュニケーションというスキルとは何かを学ぶことで、より良い生活や仕事、人間関係を手に入れるために必要な知識を身につけました。



疑問点について解決するまで粘り強く取り組む受講生の皆さまは、熱い学習意欲でみなぎっていました。

シンポジウム
建設未来京都フォーラム2017

”百花繚乱！～多様性の建設業～”

2017年10月6日(金) 13:00～17:15

会場:京都市国際交流会館 イベントホール

まもなく詳細をご案内いたします！ご期待くださいませ！